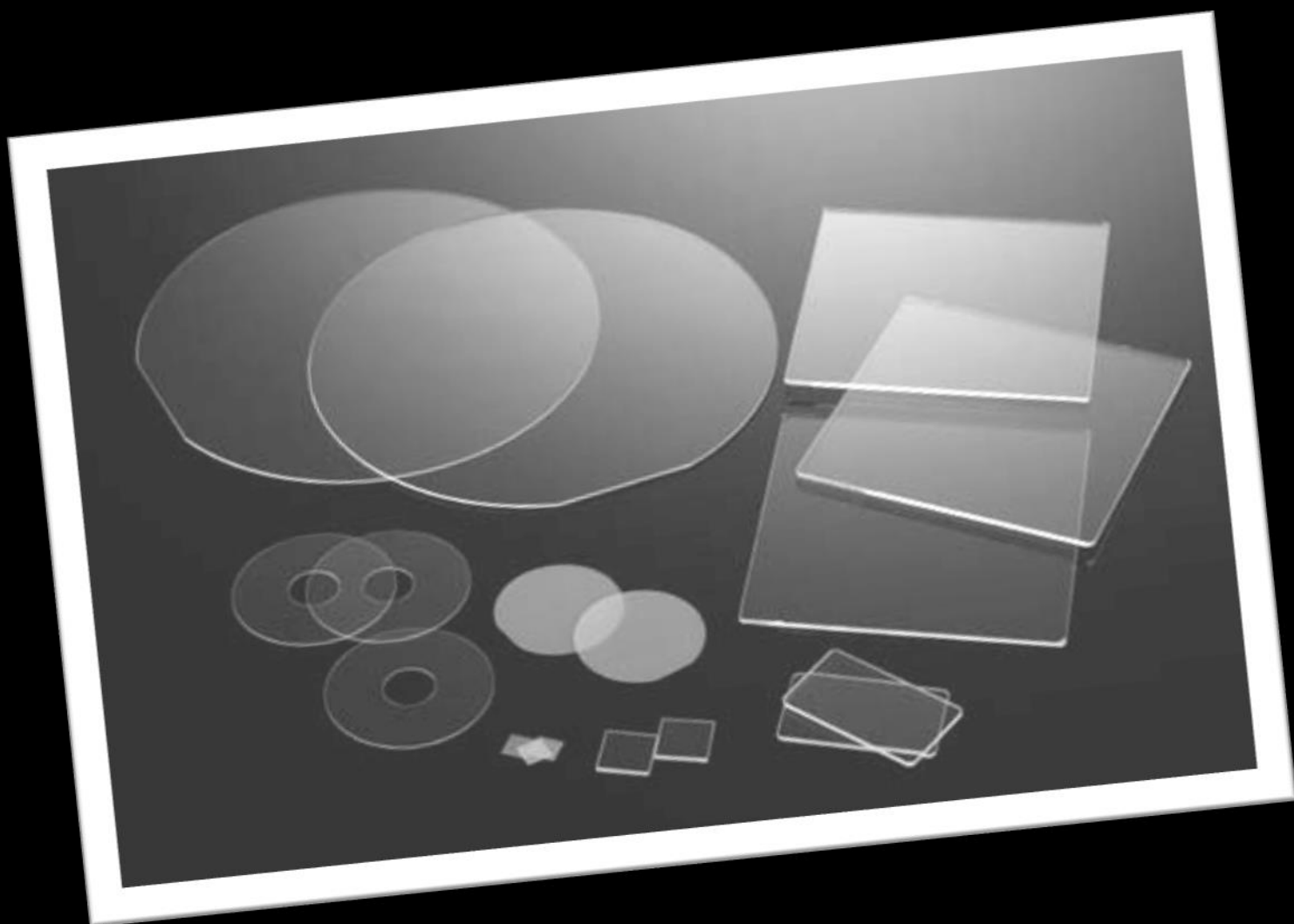


特殊仕様ガラス板もお任せ！ 用途に合わせたガラス板の提案です！

材質、寸法(大きさ×厚み)、数量をお知らせ下さい。



Always Thinking...

Always Doing...

Always ...ing。

CLIMBING

Tel: 092-962-1011 fax:092-962-1031

耐熱・強化・覗きガラス板の特徴

◆テンパックス板

特徴：テンパックスは一般的なソーダガラスに比べ熱膨張係数が小さく、あらゆる分野で優れた耐熱特性、耐熱衝撃性を発揮いたします。25.4t以下の製品は、フロート製法により平坦で平滑な表面に仕上げられ、高い光透過率と光学的歪の少ない非常に優れた光学品質を兼ねそろえています。

- 耐熱温度 常用使用温度：450℃（長時間使用/10 時間以上）
最高使用温度：500℃（短時間使用/10 時間未滿）

◆テンパックス強化板

特徴：テンパックスに強化処理（焼入れ処理）を施すことにより、未強化品に比べ耐圧強度、熱衝撃性が2倍程度高くなります。

- 耐熱温度 常用使用温度：260℃ 最高使用温度：290℃

◆透明石英ガラス板

透明石英ガラスは純度が高く、耐熱性及び化学特性に優れていること、広範囲に渡る光の透過性が高いことなどの諸特性から、さまざまな用途で使用されています。

結晶性シリカ粉（水晶粉）を原料として熔融された「熔融石英」と合成原料から作られるより高純度な「合成石英」があり一般工業用から光学用・半導体関連にいたるさまざまな分野で用途が拡大されています。

- 耐熱温度 1000℃ 純度 Si 99.99%以上

◆強化ガラス板(ソーダガラス)

圧縮に強く、引張りに弱い板ガラスの性質を利用して、表面に圧縮応力を持たせた板ガラスが（風冷）強化ガラスです。

板ガラスを軟化温度付近（約 740℃）までできるだけ均一に加熱し、炉外において速やかに均一冷却すると、すでに冷却、硬化された表層の為に内部の収縮が妨げられ、引張り応力を生じ、その結果表層に圧縮応力が誘発されて強化ガラスとなります。

- 普通並板ガラスの3～5倍の強度

※ソーダガラス板・膜コーティング板も見積り致しますお問い合わせ下さい。

